

自治協ニュース

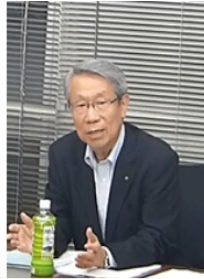
第2903号
発行者
八本松住民
自治協議会
H29. 7. 20

榎原副市長 18自治会長と意見交換会

これからの東広島市と自治協・自治会に期待するもの

八本松住民自治協議会自治会部会（部会長 山本孝喜）は6月24日、東広島市の榎原副市長を地域センターに招き、地域の課題解決のため、東広島市の現状と将来構想、市行政と住民自治協議会や自治会の関わり方について副市長との意見交換を交え勉強会を行った。

東広島市の目指すところ 人々から選ばれる人口20万都市への挑戦



榎原副市長は、これからの東広島市について「人々から選ばれる人口20万人（現在19万3千人）の中核市を目指す」と述べた。副市長の説明によると、現在の人口増は停滞傾向にありこれを打開

するため、大学生の市内就職の向上、「子育てするなら東広島で」のキャンペーン、国際学術研究都市の特徴を生かしたまちづくり等により人口20万人を達成する構え。
東広島市の課題とされてきた都市機能の整備については、東広島芸術文化ホールの開館、JR寺家駅の開業等

を進めてきており、今後は西の玄関口としての八本松の機能のアップを図る。そのため、八本松駅前土地区画整備事業、道の駅西条（国道2号西条バイパス）及び八本松スマートインターチェンジ（山陽自動車道）の設置の計画を進めている。

また、市民協働のまちづくりについては、「自治協や自治会（地域）と市とのパートナーシップが重要で市は全体の枠組みと予算を地域は具体的な行動を分担しともに地域をよりよく、より住みや

「市民協働のまちづくり」と八本松の取り組みについて

すくしよう」と述べた。

最近の高齢化の進展や相次ぐ大規模災害への対応は市政運営の基本であるが具体的な対応は地域の力によらなければならぬことをふまえ、現在八本松で実施されている関係事業の取り組みを評価した。



《市民協働のまちづくりのイメージ》



副市長との意見交換会では新たな福祉活動への支援等多くの地域課題が各自治会長から出され市当局で検討されることとなった。最後に佐藤自治会副部会長は「各自治会ともよりよいまちづくりを進めて行きますのでよろしくお願います」と述べ副市長との意見交換会を終了した。



意見交換会の状況 榎原副市長(正面右から三人目)

地域トピックス 健康と若さを保つ八本松グラウンドゴルフクラブ 10年継続 おめでとう



八本松グラウンドゴルフクラブ(会長宮崎幸夫さん、八本松南)はグラウンドゴルフを楽しむ高齢者の集いで、毎週月曜日には必ず八本松市民グラウンドで競技をしながら親睦を深めています。

このクラブは、平成19年7月に八本松南や西地区の皆さんにより発足。7月3日にはいつもの競技を楽しんだ後、満10周年の記念すべき総会が八本松南集会所で行われた。集まった35名の会員の皆さんの平均年齢はおよそ70歳くらい。

競技が終わった後、総会の弁当を食べながら世間話に花が咲いていた。宮崎会長に長続きの秘訣を聞くと「仲間と話しながら行う適度な運動は高齢者の体力維持にもってこいの運動量。しかもストレス解消となり、毎週月曜日の競技で生活にもメリハリが

このクラブは八本松南、東、中央に住む方で構成され現在45名の会員。だれでも入会が可能。昨年の参加者数は延べ千五百名。地域の高齢者の健康と若さの維持に一役かっている。

参加児童は大平が初級者でしたが真剣に先生の教えを注視していた。これも藤井聡太効果でしょうか。次の教室は9月2日。トーナメント戦で第13代八小将棋名人が生まれる。名人を目指す児童の皆さんのがんばりに期待しよう。

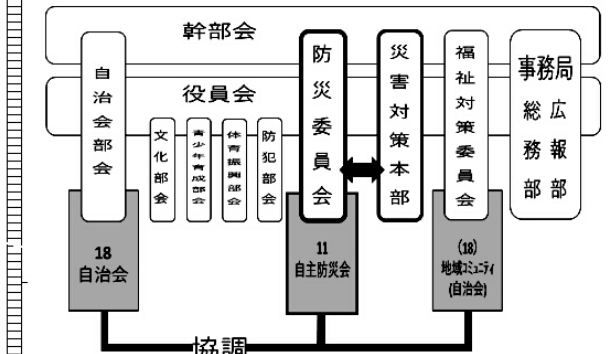


八本松住民自治協議会防災対策委員会は7月1日、地区の防災会長の他に、消防団員、児童民生委員など18名の関係者の参加のもと新たな防災委員会の結成を行った。



選任された坂本委員長

防災対策委員会は平成26年6月に住民自治協議会主導で結成され、以来地域の防災組織の設立、防災資機材の整備、防災マップの作成などの推進や支援を行ってきた。この3年間で全地域で自主防災会が設立される



八本松自治協 防災組織の枠組み

防災体制が整備されてきた。そして、今後は地区の自主防災会を中心とした組織に変更し、別組織の災害対策本部(自治会本部)、自治会部会や福祉対策委員会(仮称)と強調する万全の

委員長に坂本一彦氏(八本松北)、副委員長には牧野美三夫氏(八本松西)、横井國興氏(八本松南)の各氏が選任され、組織名も「防災対策委員会」から「防災委員会」に改められ、地域に密着した防災活動に向けてスタートした。



防災組織 クル-防協

防災対策委員会から防災委員会 防災本格始動

平成三十九年度第二回八本松住民自治協議会防災委員会

将棋教室 藤井フィーバーで大賑わい

学校週五日制対応事業